

薄氷に 踊る



Yu-Gi-Oh! GORUSH!!
Unofficial fanbook

R18
ADULT ONLY
DO NOT REPOST



苦しい

貴方と再会
してからずっと



だがこの苦しみを
抱えていれば

貴方はそれがしを
赦してくれる

それがしは貴方の
心を満たすことが
できる

だから最期まで
どうか――

• この本は成人向けです
18歳未満の閲覧を禁じます

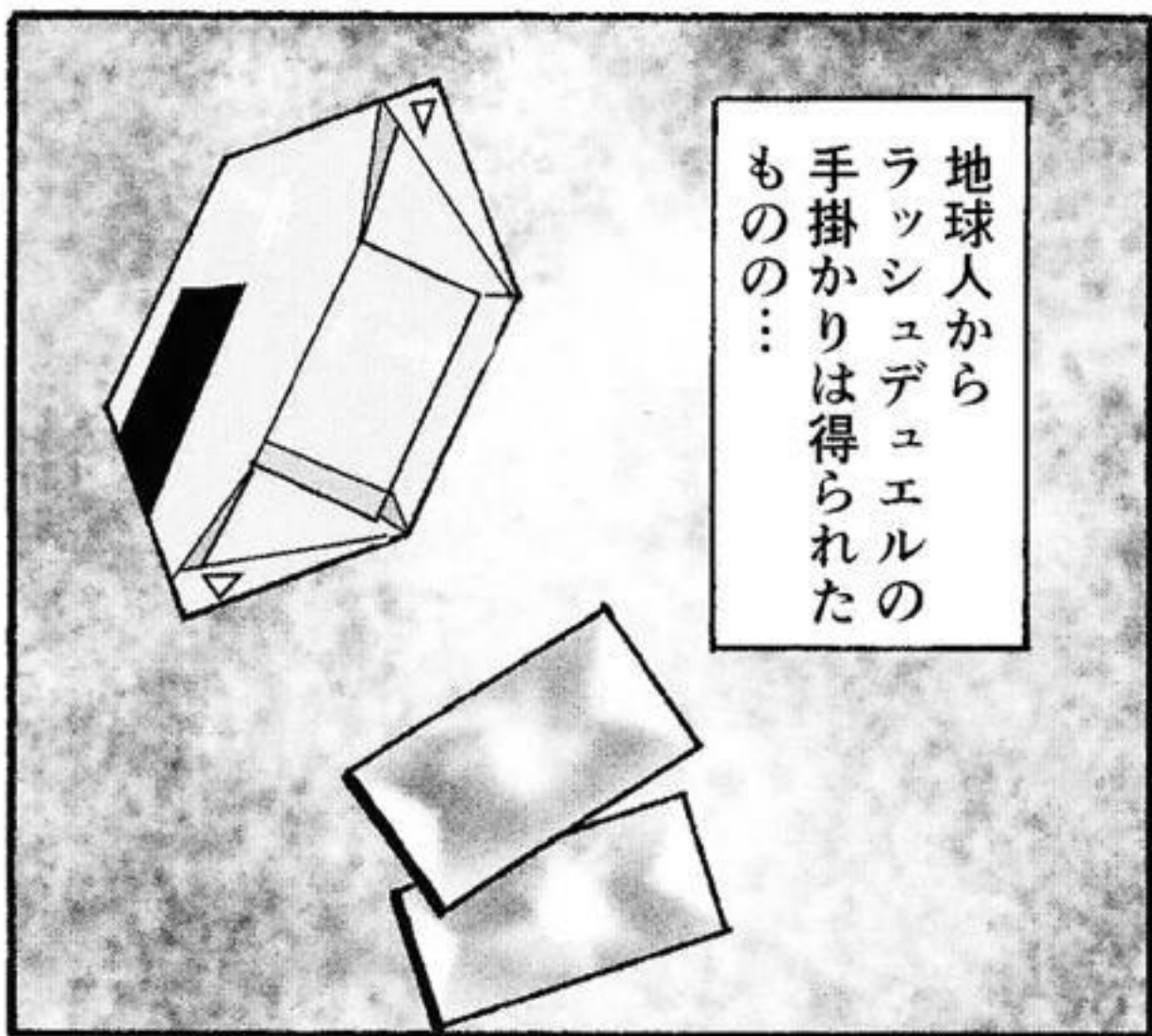
• 「もし一話時点でユウディアスと
ズウィージョウが再会していたら」
というIF設定の
ズウィージョウ×ユウディアス本です

• こちらはユウディアス視点となっています
ズウィージョウ視点を読む場合は
一度本を閉じ、反対側からお読み下さい

地球に降り立って
どのくらい経った
のだろう



地球人から
ラッシュデュエルの
手掛かりは得られた
ものの…



そこから一歩も
進めず

じわじわと
焦燥ばかりが
募る日々が続く

ズウィージョウ

貴方がいてくれたら
きっと今頃は――



どう…

!?

ガッ













少し話をしよう
ユウディアス



ラッシュデュエルによって
敵と完膚なきまでに

叩き潰すことが
できるのだ



っそれは武力で以て
戦うということでは
ないか!?

アースダマーのために
無関係の地球人を
巻き込むことにもなる!!

そんなもの
正しき平和の
道ではない!!

ひく、

ならばお前は
ラッシュデュエルを
どう使う!?

反論するつもりなら
お前の答えを
聞かせてもらおうか!!

それは…

そ

ッ

はしっ

……

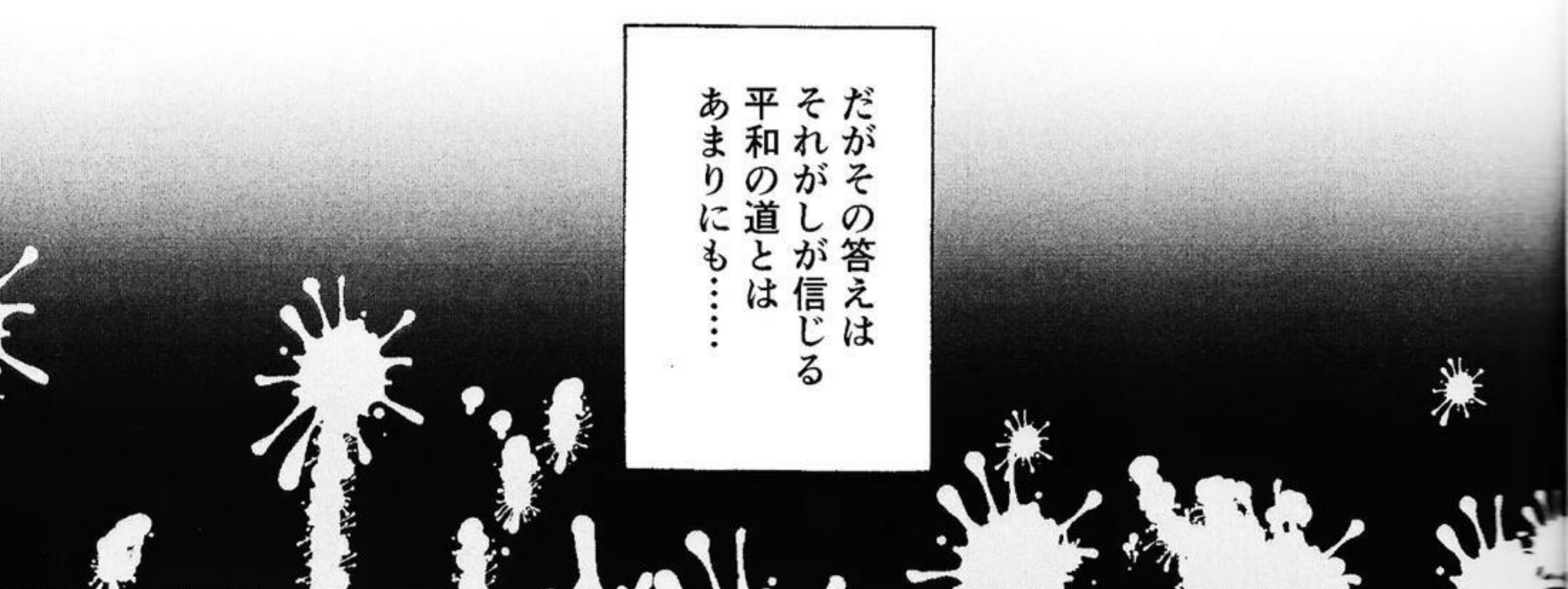
反論できる
わけがない



それがしは未だに
ラッシュデュエルの
ことを何一つ
理解できていない



ズウィージョウは
既に自身の答えを
得ているというのに



だがその答えは
それがしが信じる
平和の道とは
あまりにも……



：敵を倒す
だけではない

！

仔細は言えぬが
アースダマー回収は
同胞を救うことにも
繋がるのだ

そのためなら
我はこの手を汚す
ことなど厭わない

我と共に行こう
ユウディアス

…それともお前は
別の道を
探すのか？

別の道を探す？

地球人を巻き込むことも
武力で敵を倒すこと
間違っている

無理だ
それがしは答えを
なんとか
ズウィージ持参をいらない
説得して…

一人で探すのか？

ズウィージョウと
道を遡ることになる

今まで

自分では何一つ

手掛かりを

掴めていないの

また会えたの？

嫌だ

嫌だ

嫌だ

嫌

それがしには
出来ない

それがしは…

きつとズウィージョウと

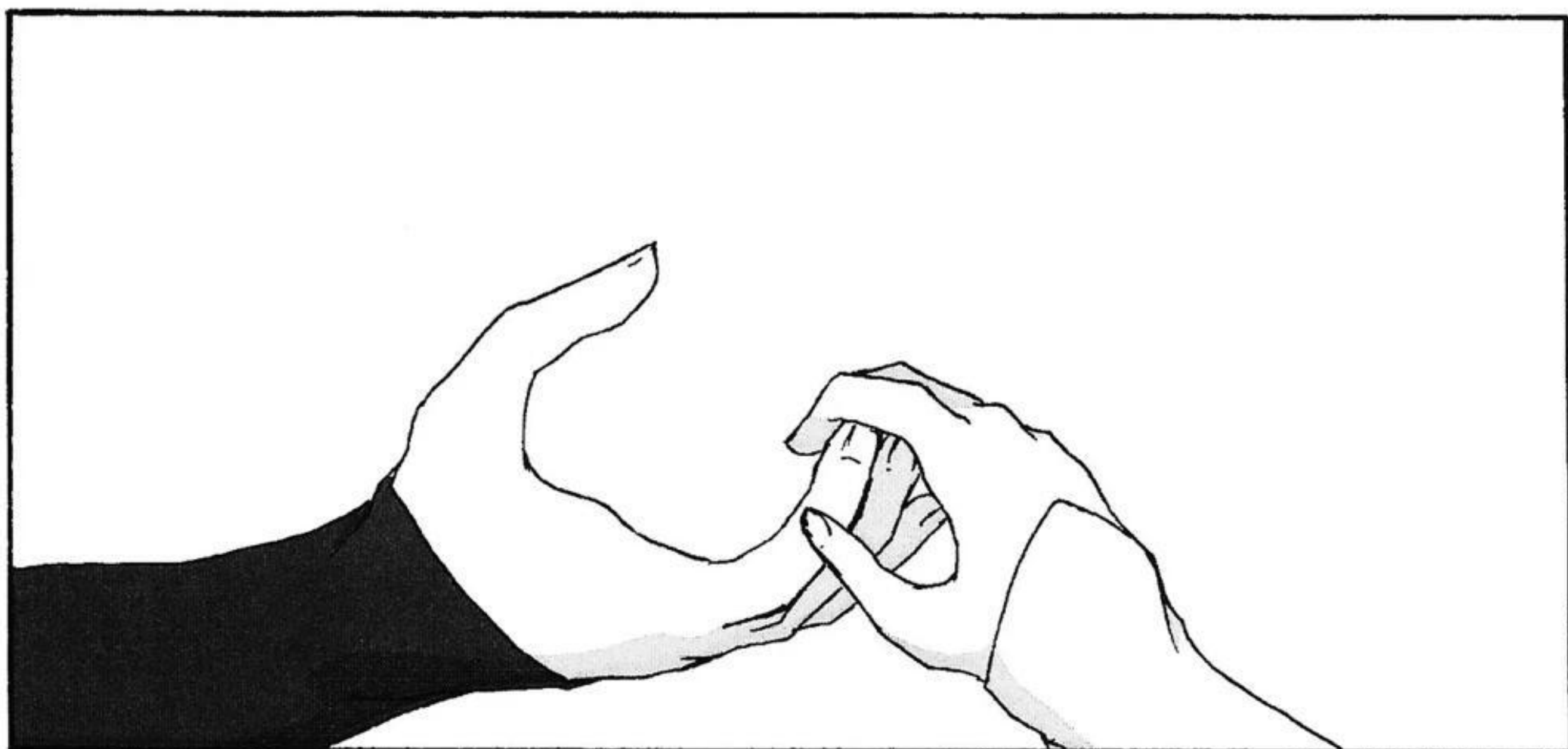
戦うことになる

——わかり、
ました

それが同胞の
ためになるのなら

貴方と

共に
行けるのなら



それがしは
貴方に従います

それから
アースダマー回収
のため地球人の平穏を
踏みにじる日々が続いた

たくさん
たくさん
傷つけた

「全ては同胞の為」

「ベルギヤーの
未来の為」

どれだけ美しく騙ろうと
無関係の者たちを
害していることに
変わりはない

こんなやり方は
間違っている

それがしは
間違ったことを
している

それなのに

…間違っている

何故

誰からも
罰されずに――

のうのうと
生きているの
だろう？

トク

その考えが
過った瞬間

はっ

はぁ

目を逸らし続けていた
罪悪感が、呵責が
一気に押し寄せた

気づかないフリを
していただけで
本当はずっと苦しくて
恐ろしかった

あの日から

ずっと

ずっと

どうしようもなく
苦しい
それを自覚してしまった

誰か

それがしを
罰してくれ

この苦しみから
逃れるための
罰が欲しい





…あ



貴方に…
頼み、たいことが



それがしを
罰して
くれませんか

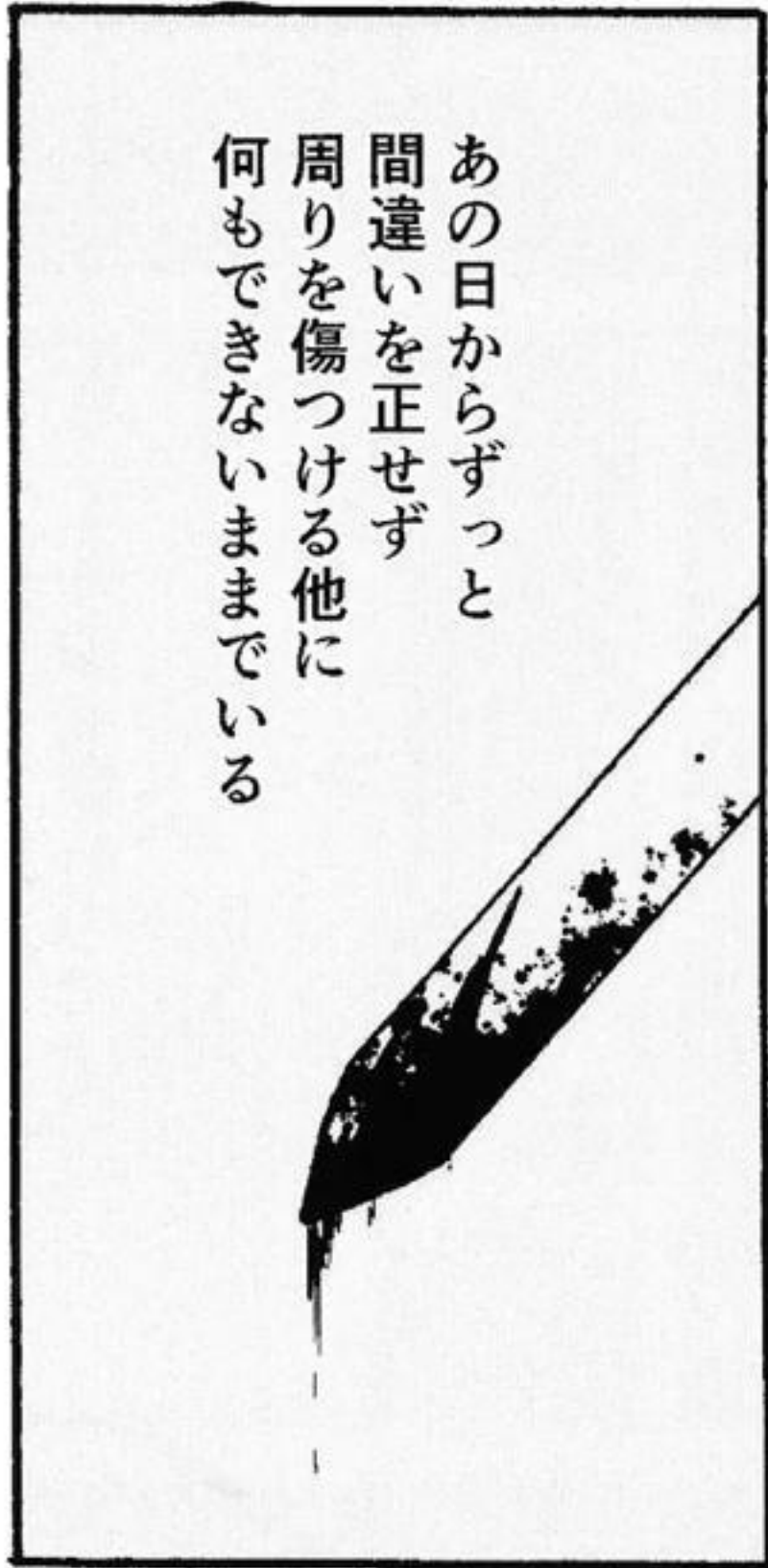
…何故だ



…あの日それがしは
貴方を止めるべきだった

「貴方のやり方は
間違っている」と
意志を強く持つ
べきだった

だがそれがしは
弱くて、
貴方と離れたくなくて
目を瞑ってしまった



あの日からずっと
間違いを正せず
周りを傷つける他に
何もできないままにいる



そんな弱い自分が
罰されないことが

たまらなく
苦しい…!!

楽になるために
罰を受けることも

この期に及んで
貴方に縋ることも

そんな都合の良いこと
許されないと
わかっているのです

…でも

自覚してしまったら
もう耐え難いのです

少しの間
だけでもいい

この苦しみを
忘れないで…!!

だから
どうか…!!

ユウディアス
顔を上げろ

?

……



そう告げられ
訳もわからぬままに、
手を引かれた先

ここは

ズウィージョウの…

ズウィージョウが
何を与えようとしているのか
何を以て苦しみを忘れ
させようとしているのか

嫌でも察しがつく

あ…

あの…

これ以上はダメだ
戻れなくなる

それがしは…

この線を
踏み越えてはいけません

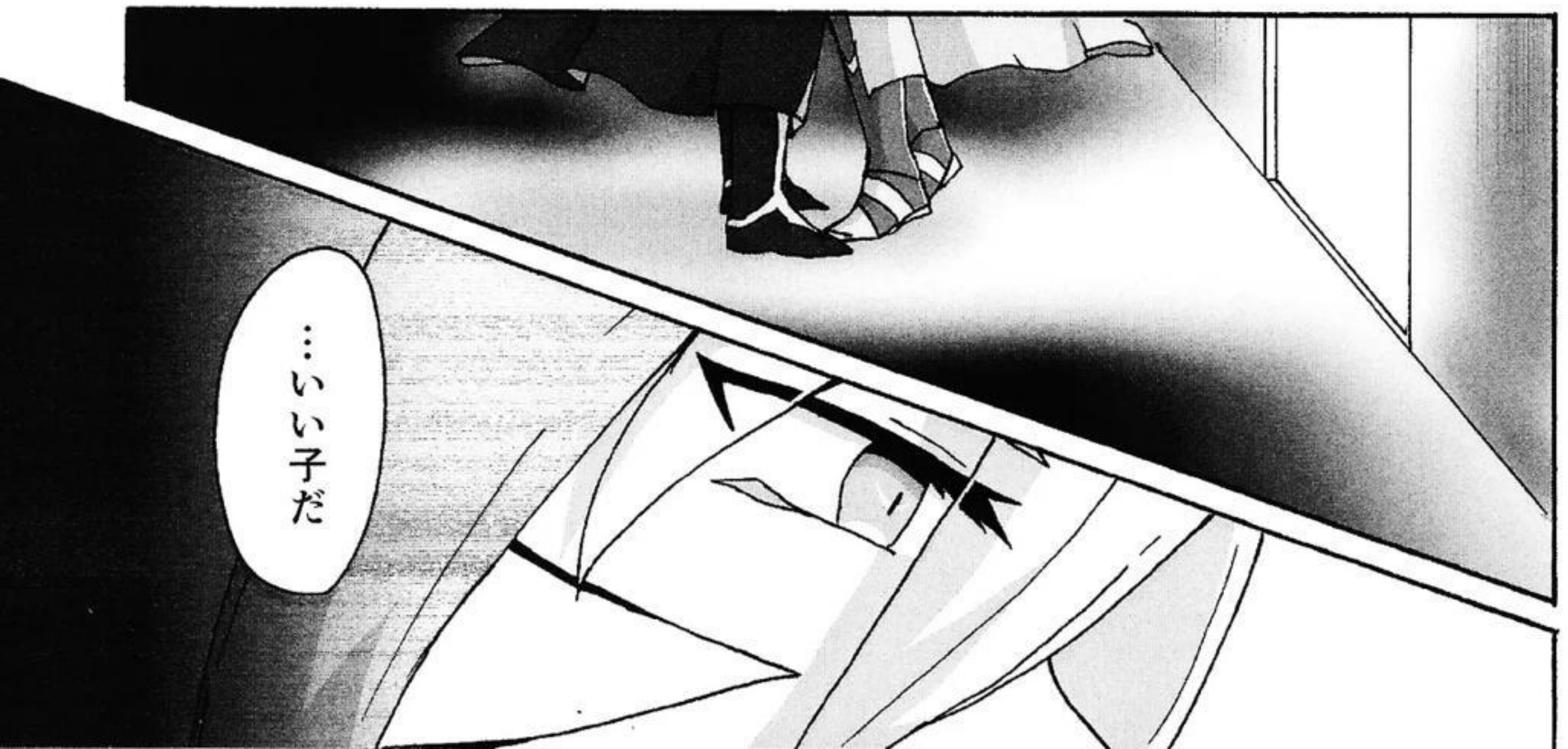
ユウディアス



おいで



あ.



その行為に
戸惑いはあつた



けれどそれ以上に
この身に触れる
ズウィージョウの
手が……



温度が心地よくて
思考はすぐに
形を成せなくなった







それを他の誰が
許さなくとも
お前自身が
許さなくとも

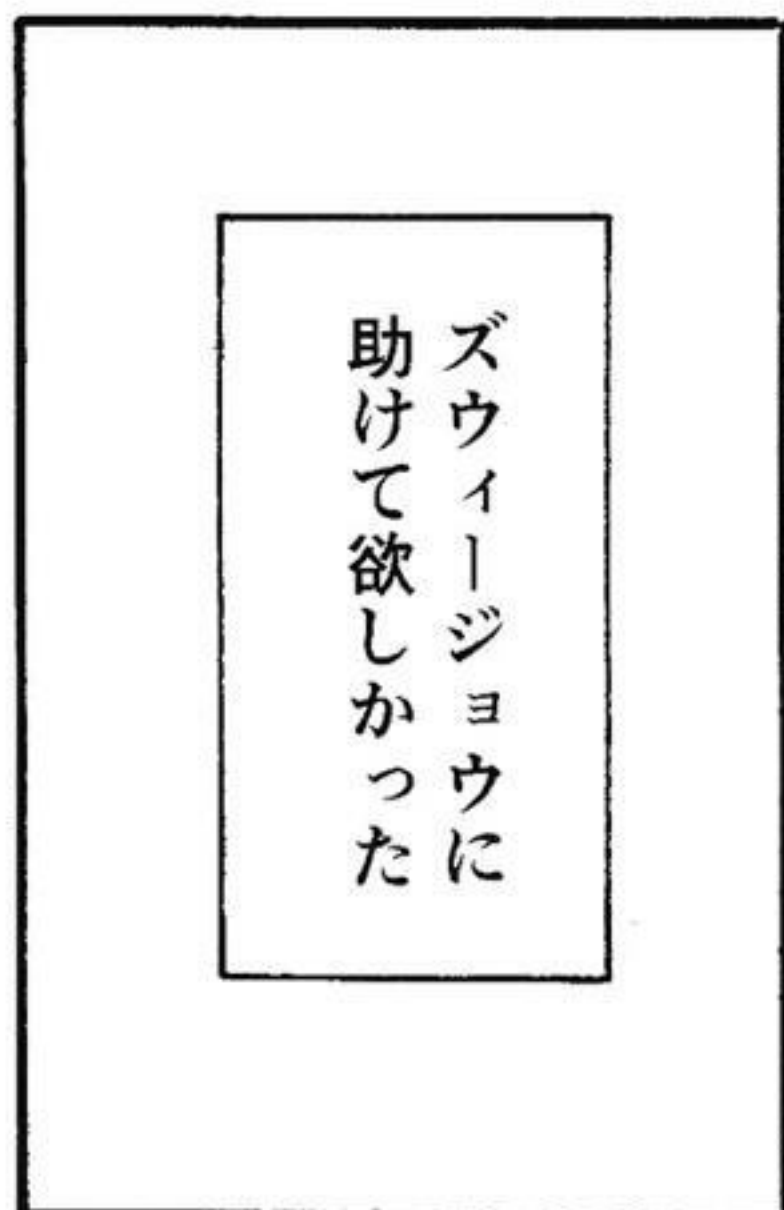
苦しくなったら
すぐ我の所に
来ればいい

少しでもお前が
苦しまずに
済むのなら
我はいつでも応える

…貴方に迷惑を
かけてしまうのでは

迷惑などと
思うものか

我だけは
お前を赦そう
絶対だ



続けることしかできない
それがしを赦すと
言ってくれた

…はい
ズウィージョウ

貴方が赦して
くれるのなら

こんなそれがしに
傍にいることを
赦してくれた

なんて
幸福なのだろう

それがしは

貴方の傍に…

—それから

何度も

何度も

何度も

それがしが求める度に
ズウィージョウは
優しく受け入れてくれた



何もかもは貰って
ばかりだった

赦しも
苦しみを忘れる
快樂も



だが

いつからだろうか

ズウィージョウは
それがしの前でひどく
満たされたような表情を
するようになった

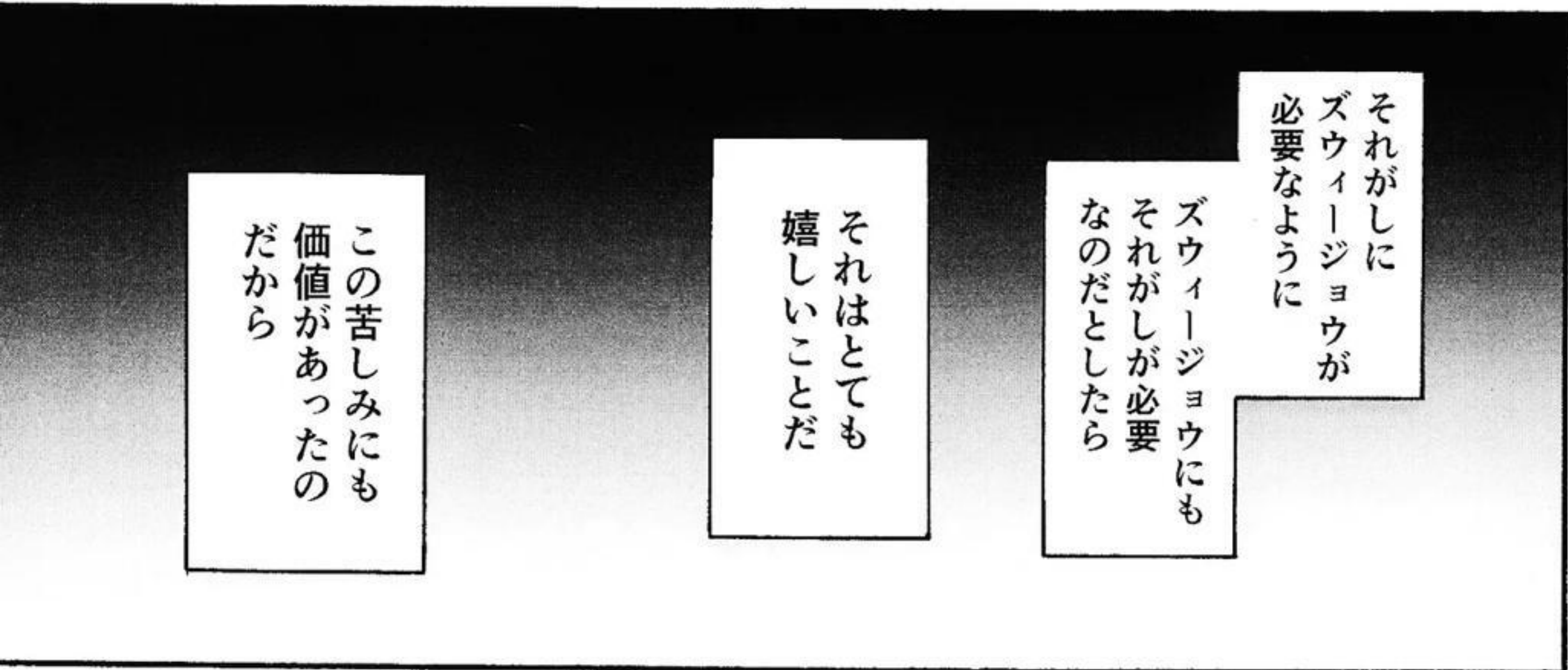
それがしは貰う
だけではなく
貴方に何かを与えることが
できているのだろうか

それがしは





貴方の心を
満たせる？



それがしに
ズウィージョウが
必要なように

ズウィージョウにも
それがしが必要
なのだしたら

それはとても
嬉しいことだ

この苦しみにも
価値があったの
だから



…地球人を害する
ことは今も苦しい

罰されない自分が
赦せなくて苦しい

それでも

これに
価値があるのなら

苦しいままで
いいのではないか？

そうだ
苦しいままで
いれば――

ずっとこうして
いられる

ズウィージョウと
一緒に……

…？

何か…
おかしくはないか

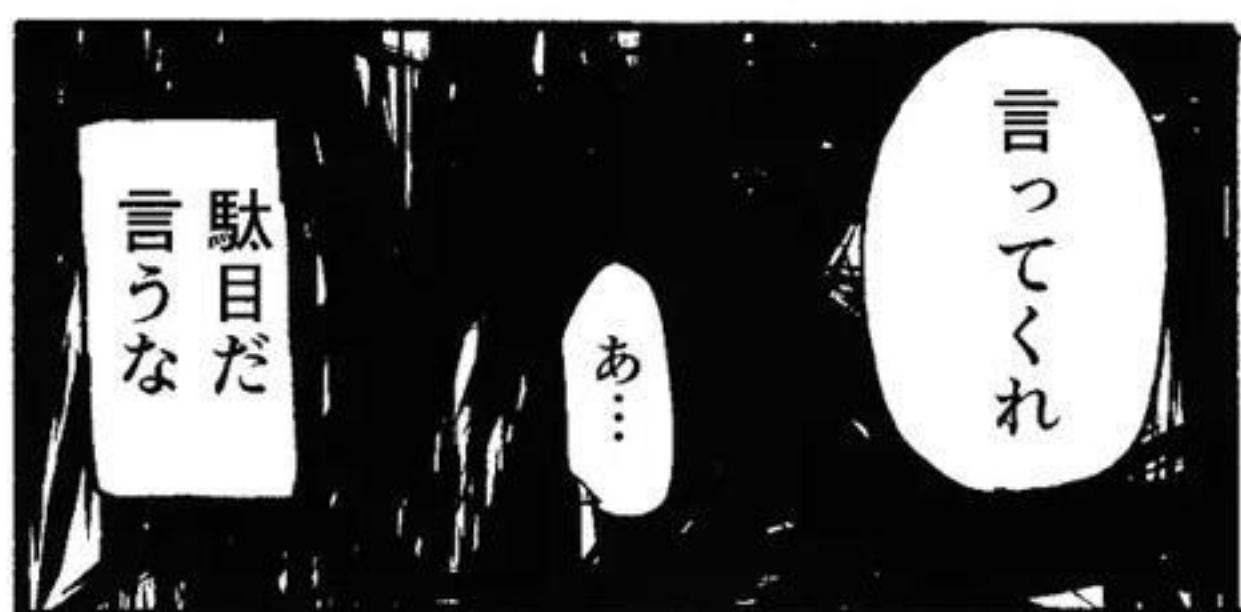
苦しくなくなるために
ズウィージョウを
求めていたのに

今はズウィージョウを
求めるために苦しい
ままでいたいと
願っているようではないか

ズウィージョウと？

おかしい
…何が

ドクン







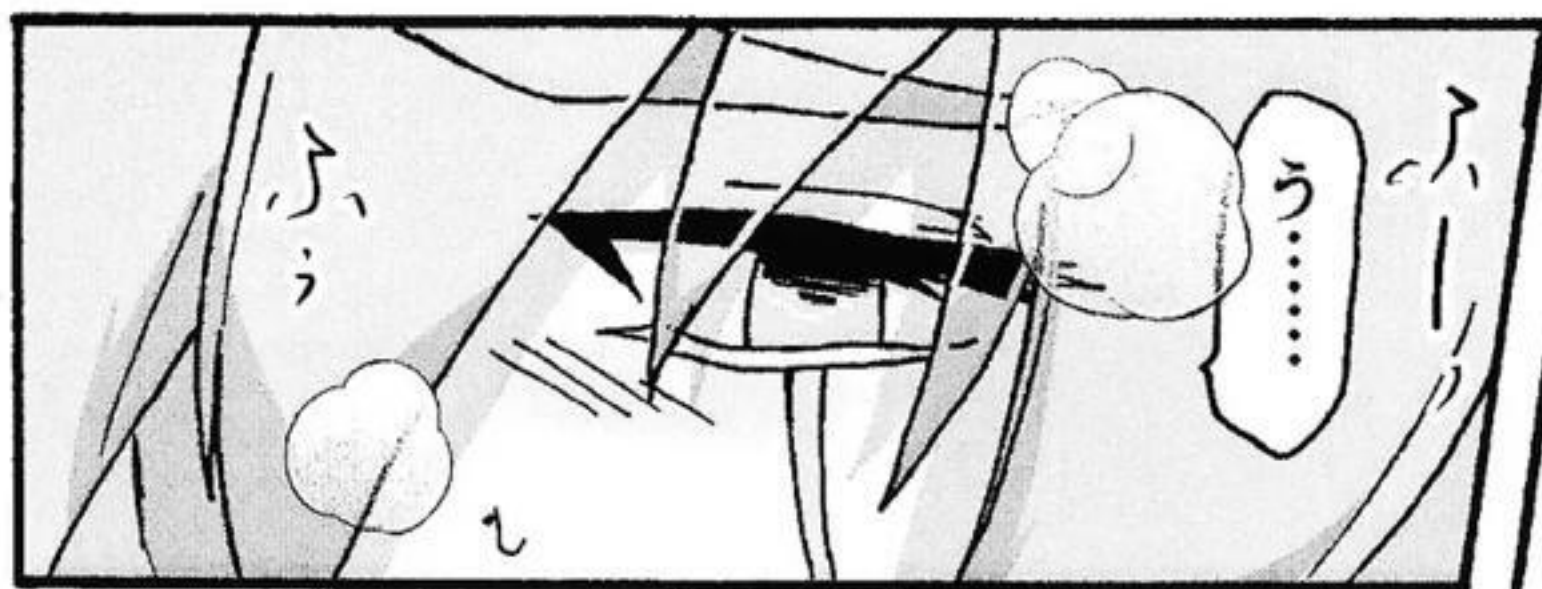
思考も
罪悪感も全部
溶けていく

気持ちがよくて
しあわせで
もう苦しくない

……それがしは
くるしかった？

どうして
くるしかったの
だろう







正体を失くした
瞬間に現れた
身勝手な敵意

それがしが選んだ
ズウィージョウと
共にあることも
この身を
委ねることも

それなのに...

— 良い



お前の苦しみが
和らぐのなら
良い

我は大丈夫だ

全て
受け入れる



—ああ

本当に全てを—
こんな身勝手な敵意すらも
受け入れてくれるのか
赦してくれるのか

ふふっ





ならば今まで通り
私の傍にいと
約束してくれ

お前とこうしている
間は我は満たされた
心地になるのだ
だから……

それがしで
いいのですか



お前でなければ
だめなのだ

勘違いではなかった



あの時
感じたもの

それがしは
ズウィージョウに
必要とされている

それがしは
ズウィージョウの
心を満たせる

——勿論約束します

貴方が手を離さぬ限り
それがしも貴方の手を
離しません

ずっと
ずっと……

それでも
ズウィージョウに
赦されるために

ズウィージョウの
心を満たすために

この苦しみを
抱え続けて
いよう

だから最期まで
どうか
この手を離さないで
いて欲しい



あとがき

この本を手にとってくださりありがとうございます。

初のR18本＋別視点有本だったのでかなり四苦八苦しながらの制作になりましたが、なんとか形になりました。(多分)

1年目が終わった頃、1話を見返して「あれ？この時のユウディアスかなり切羽詰まってないか？」と感じたのがこの本を描くにあたったきっかけでした。

6話で「共に行こう」と手を差し伸べられた時には既に双子に会いラッシュデュエルの手掛かりを得られたことで心に余裕ができていたためその手を取ることをしなかったけれど、双子と会う前のユウディアスにはそれができないのではないかと個人的に思ったのでそれをそのまま本にしました。ずっと精神的に参っている状態なのでこの本の中ではほぼユウディアスの目に光がないのはそのせいです。

全体的に描きたいものがとっちらかった気はしますがズウィージョウ視点と合わせて約90ページを描き切ることができたので満足です。

8月にラッシュオンリーの開催も決定したのでそこでもまた本を出せたらと思っています。

ここまでお読み頂きありがとうございました！

※ 以下ネーム作成当初のメモ書き

双子と会っていないため、心の傷を癒すこともできずラッシュデュエルのこともわからないままなのでズウィージョウに反論できない＋彼と離別する洗濯ができない。

地球人を害することに罪悪感を覚え罰を欲するも、ズウィージョウから与えられる赦しに抗いがたい幸福を感じてしまうことに苦悩。ズウィージョウに縋り続ける現状に危機感を持ち離別の意思をくすぶらせていた。

しかしズウィージョウに向けてしまった敵意すらも赦されてしまい、離別する意思を完全に失う。

精神的に弱った際に自己決定権を他者に委ねてしまう。でも他人が決定したことでもそれを受け入れた自分にきちんと責任を持とうとするので余計に苦しい(人のせいにできない)

はくひょう おど
「薄氷にて踊る」

発行日：2024/5/4

発行者：わっぱ飯

サークル名：こごめゆき

連絡先：wappamesh11@outlook.jp

X(Twitter)：@wappa_11

Bluesky：@wappa-11

印刷所：プリントオン様

※ この本は個人で作られた非公式のファンブックであり公式とは一切関係がありません。

無断転載、複製、複写、ネットオークションへの出品を禁じます

満ち足りている

お前と再会
してからずっと

この道に救いが
無くとも

お前は我を
求めてくれる

我はお前を
赦^{なす}けられる

だから最期まで
どうか――

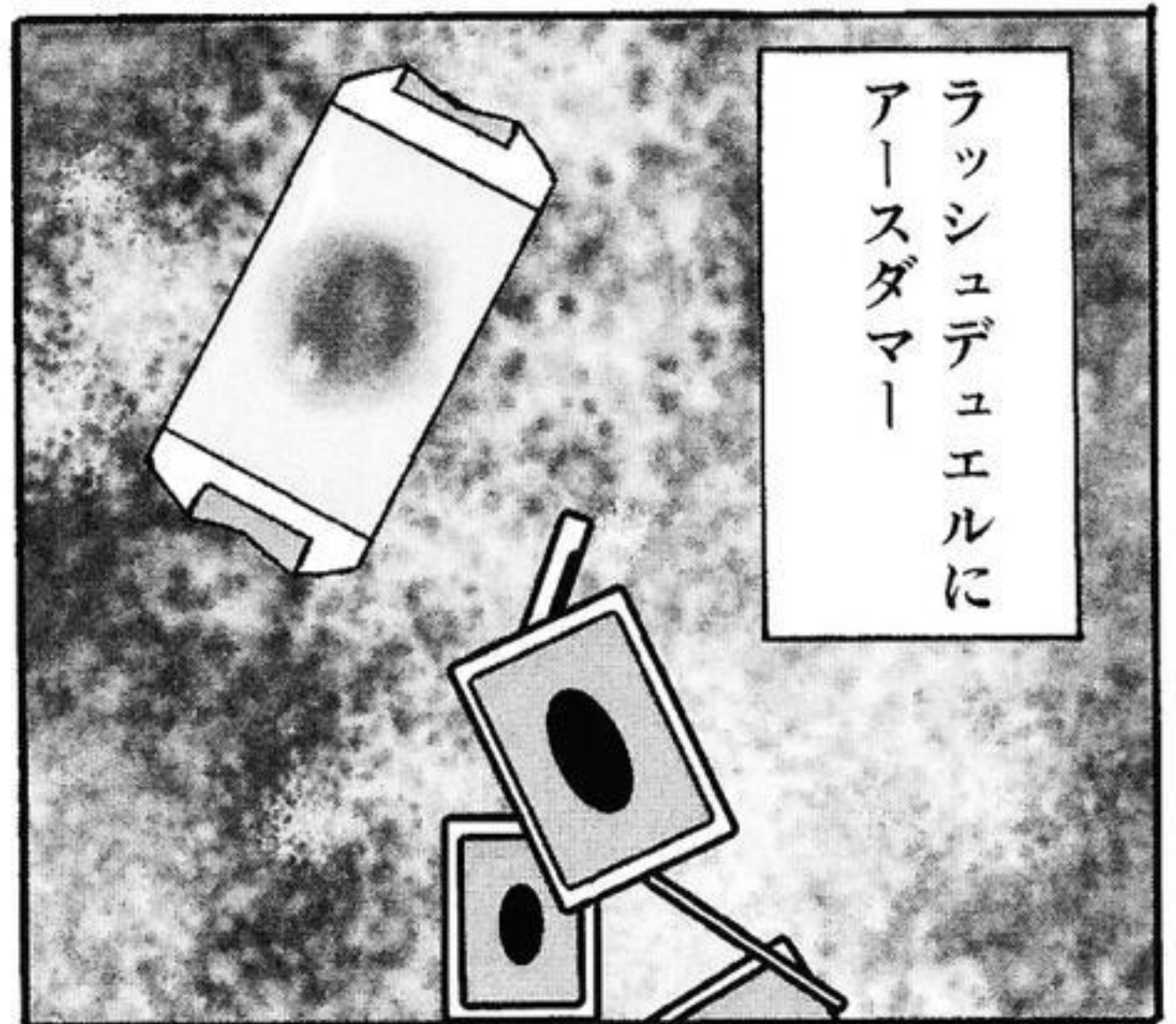
・ この本は成人向けです
18歳未満の閲覧を禁じます

・ 「もし一話時点でユウディアスと
ズウィージョウが再会していたら」
というIF設定の
ズウィージョウ×ユウディアス本です

・ こちらはズウィージョウ視点となっています
ユウディアス視点を読む場合は
一度本を閉じ、反対側からお読み下さい



地球へ来てから
随分と経った



ラッシュデュエルに
アースダマー

まだまだ検証は
必要だが

これらは我々
ベルギヤーを良き
未来へ導いて
くれる筈だ



あの日からこの
胸に巣食う
虚ろな穴も
この計画が完遂した
時にはきつと――



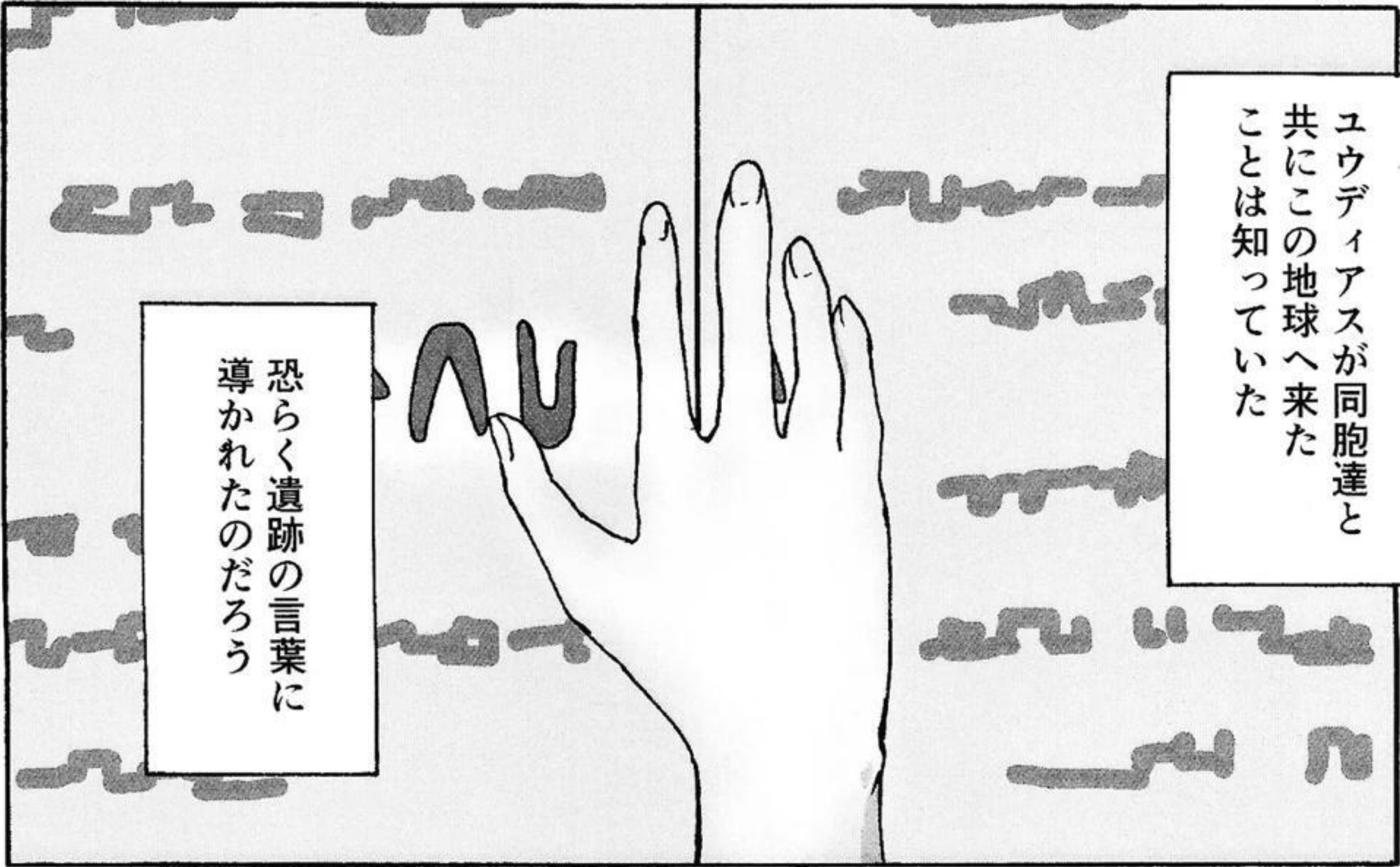
懸念があるとするなら
計画の中でただ一つの
不確定要素



ここか



ユウディアス…



ユウディアスが同胞達と
共にこの地球へ来た
ことは知っていた

恐らく遺跡の言葉に
導かれたのだろう



「ここで会うべきではない」

この場所に来てから
その言葉が警鐘の
ように響いている



…だが



少し

様子を見るだけだ



コッ

コッ



カッ

カッ

現状をより
詳しく把握
するために

あっ…





ズウィージョウ…
本当に…？

生きて、
いたのか…？

やはり会うべき
ではなかった

ユウディアスの
こんな顔を見て
放っておける筈が
ないというのに

…ああ
なんとかな

お前の方は
息災であつたか？

力のない返答
伏せられた瞳
目の下の色濃い隈

それがしは…

ユウディアスを
取り巻く状況が
芳しくないことは
明白だった

……



少し話を
しよう
ユウディアス

…ある程度
予想していた
通り



ユウディアスは遺跡の
言葉を頼りにラッシュ
デュエルを求めこの
地球へ来た

だがその活用方法を
見出せては
いないようだ



行き詰っている
今なら説得も
容易だ



…時にユウディアス
「アースダマー」という
物質を知っているか？

「アースダマー」
ですか？



それならば
都合が良い
ではないか

ユウディアス達も
計画に加えれば
より確実なものに…

そうだ

地球人達が持つ
そのエネルギーを
回収できれば

ラッシュデュエルに
よって敵を完膚なき
までに叩き潰すことが
できるのだ!

っそれは武力で
以て戦うという
ことではないか!?

アースダマーのために
無関係の地球人を
巻き込むことにもなる!

——ああ
ユウディアス

そんなもの

正しき平和の道
ではない!!

腑抜けたのか

キ



ならばお前は
ラッシュデュエルを
どう使う!?

反論するつもりなら
お前の答えを
聞かせてもらおうか!!



何も
わかっていない

だというのに
武力行使への確かな
否定の意志を感じる



それは…

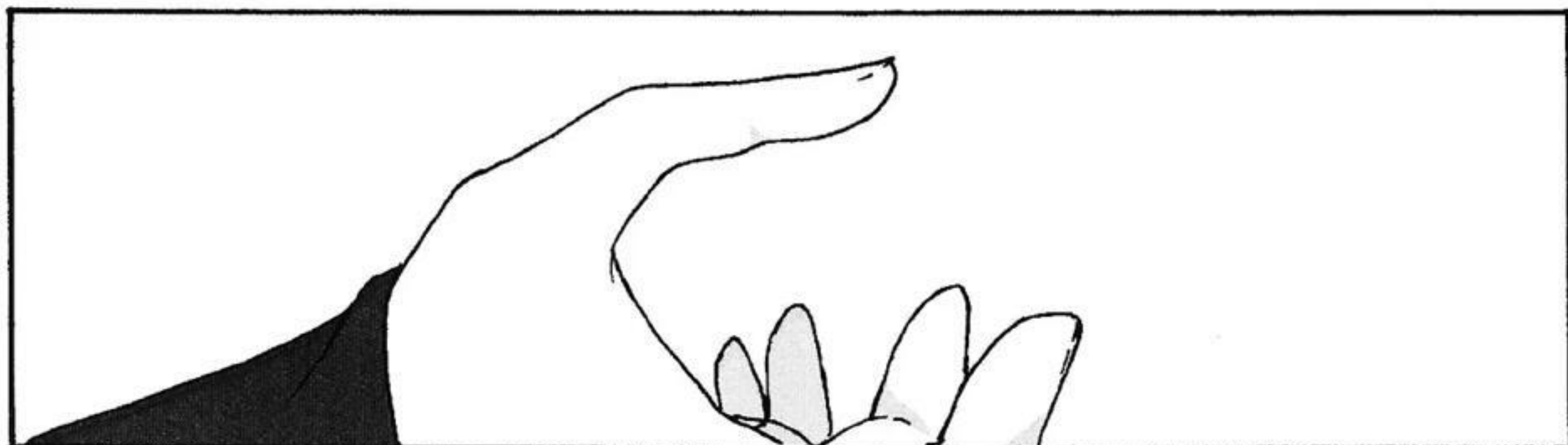
沈黙は
無知の肯定

説得の言葉を
誤ったか

…敵を倒す
だけではない

仔細は言えぬが
アースダマー回収は
同胞を救うことにも
繋がるのだ

そのためなら
我はこの手を汚す
ことなど厭わない



我と共に
ユウディアス

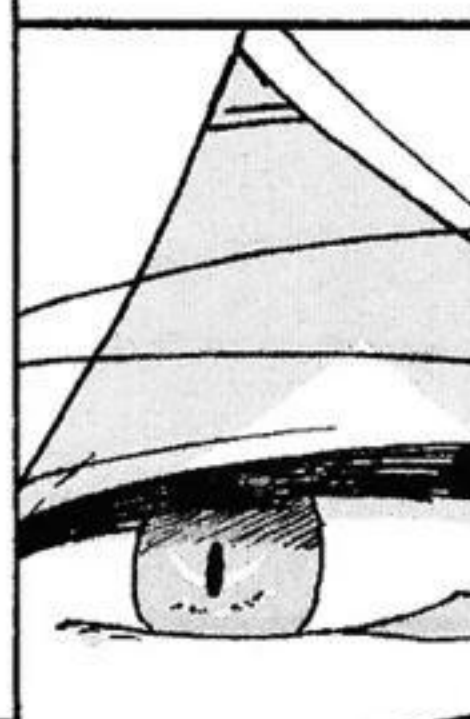
…それとも
お前は別の道を
探すのか？

……



それがしは…

同胞の為と言えど
方法は戦争と無関係の
地球人を脅かすもの



そして理由は
分からぬが今の
ユウディアスは現実の
戦争を嫌っている

ラッシュデュエルの
平和的な利用を
目指している



ユウディアスは
信念を曲げない



だから道を
違えることにな
るのだろう

漠然とそう
思った

だから
答えを待った

きっと
ユウディアスは――

――わかりました



…は

それが同胞の
ために
なるのなら

貴方と共に
行けるのなら



それがしは
貴方に従います





ユウディアスならば
答えを見つけれらる
という確信めいた
ものすらあった



答えを見つけた
ユウディアスならば
この心の闇を払って
くれるという
期待があった



だがユウディアスは
信念を曲げ、自らの
答えを見つける道を
断った

我と共にある為に

救いの望みは潰えた
と誰かの声が
聞こえた気がした

絶望すると
思った

絶望するべき
だった



だというのに



この高揚感
は一体何だ





その感情の正体を
掴めぬまま
計画のため地球を
駆ける日々が続いた

ユウディアスも
それに従い
続けているが…



地球人を害する
ことには酷く心を
痛めているようだった



今の状況がどれほど
心に軋轢を生んで
いるのか

このまま計画に
加担させ続けても
いいのか

そう考え始めた
矢先――



ユウディアス
どうした？

あの…



ズウィージヨウ!!





…何故だ

聞いては見たが
想像はついた

その想像通り
ユウディアスはその
優しさと責任感の中で
生まれた矛盾に苦しんで
いるようだ

そして耐え切れなくなり
苦しみの捌け口を自身への
処罰に求めた…

自覚してしまったら
もう耐え難いのです

少しの間
だけでもいい

この苦しみを
忘れたい…!!

だから
どうか…

…必死に縋り
つく手が
心地良い

ずっと一人で
抱えていた傷を
自ら晒すその姿が

ひどく愛おしい

ああ

あの高揚感の
正体がようやく
わかった



それが継る先を求め
自ら手を伸ばしてきた

他でもない
我に向かって

苦しさを
忘れたいのだろう？

なにを…？

あの高揚感のはの正体は
紛れもない征服欲だ

我がお前に
必要なものを
与えてやる

ユウディアスの心を
壊すのは本意ではない

苦しみは
忘れさせて
やるべきだ

だが与えるものは
痛みであっては
いけない



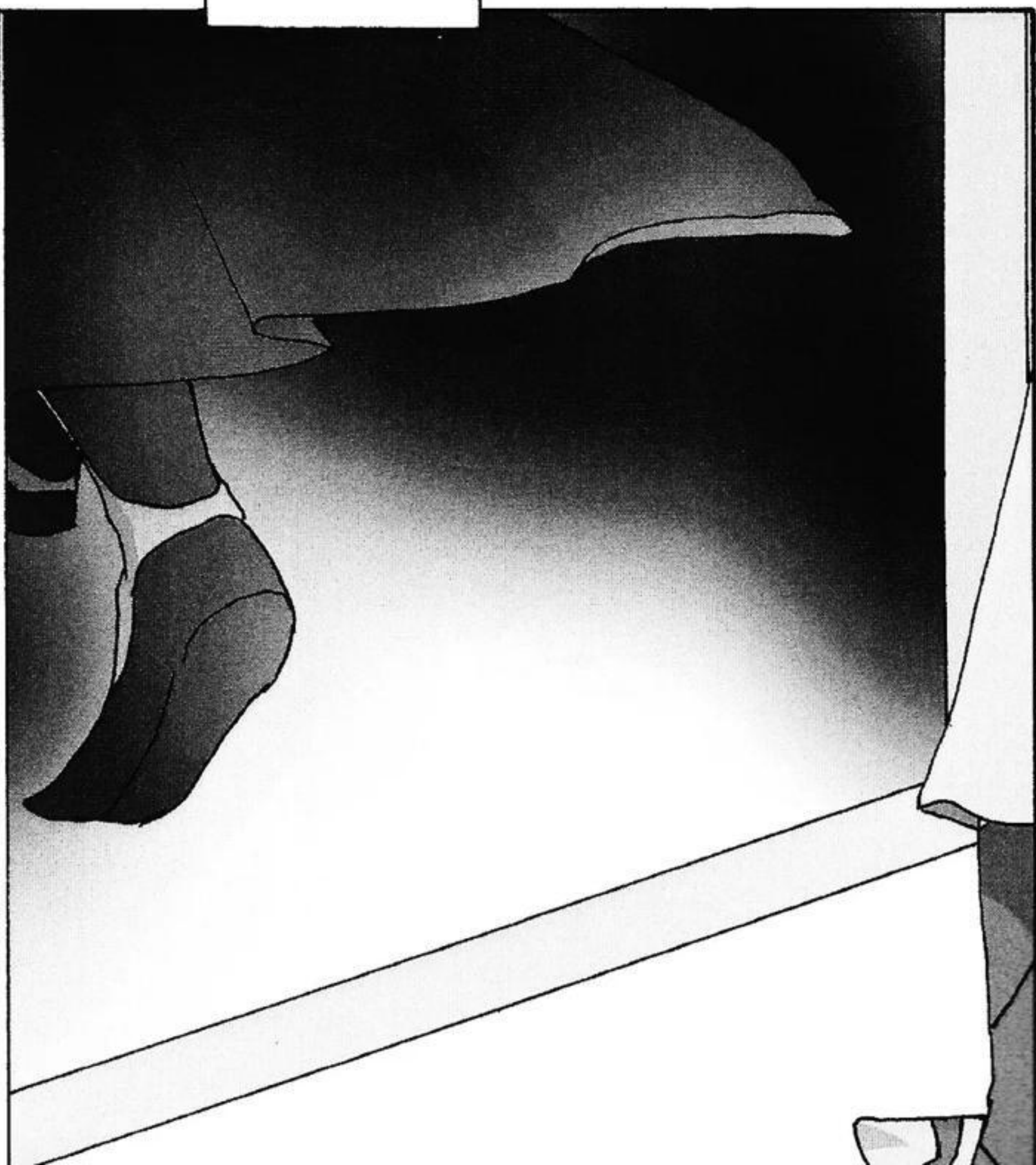
痛みを与えることは
誰でもできる

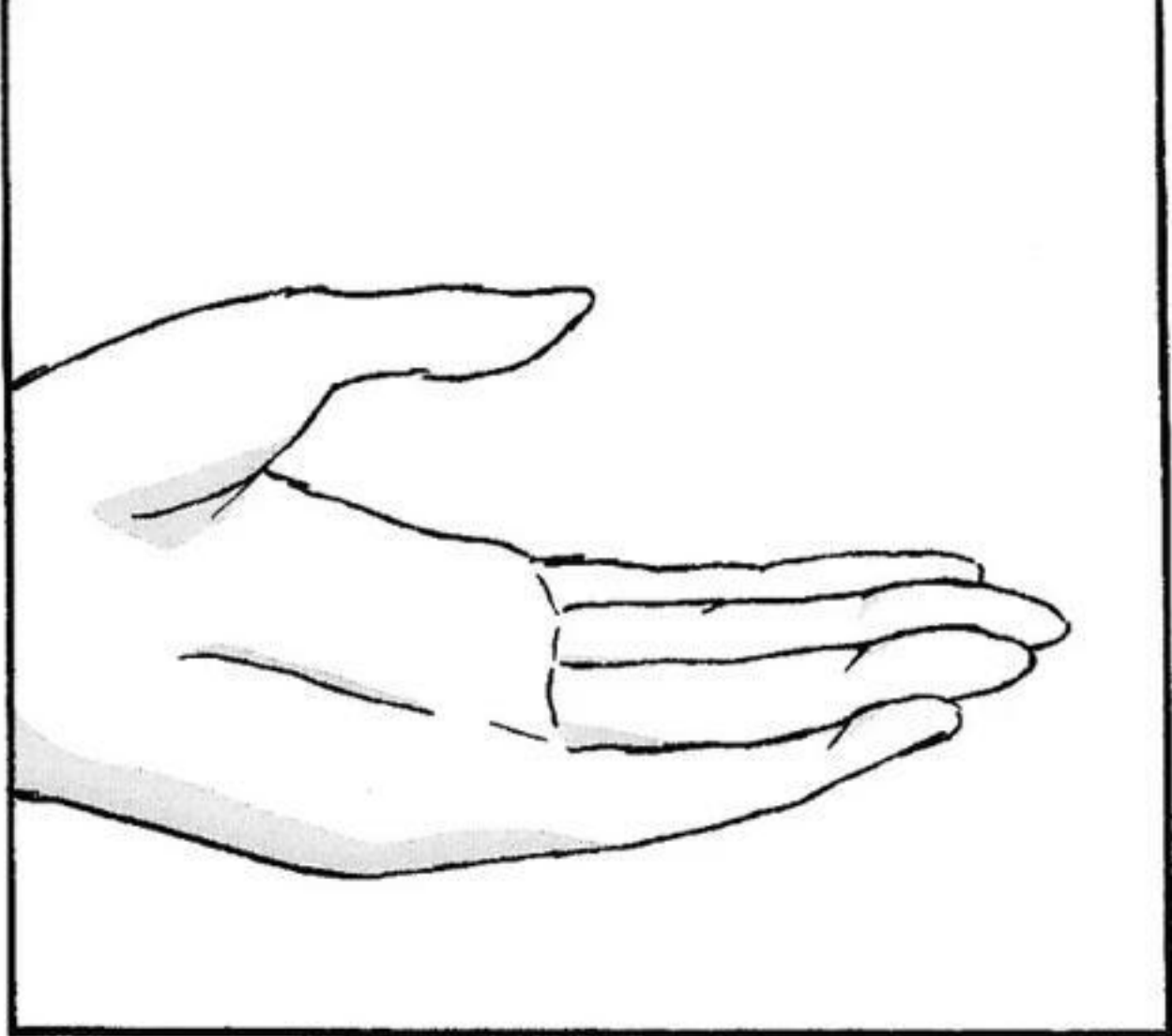
簡単に替えが
利いていしまう

ユウディアスが
他の誰も頼らぬように
我の元から離れぬように
するためには



甘い^{どく}快樂を
与えるべきだ





そのためにも

ユウディアス



おいで

もう一度
ユウディアスの意志で
この手を取って
もらわねば



努めて優しく
思考を溶かすように

あとは執着を
悟らせぬよう

…これでいい



ゆっくりと――

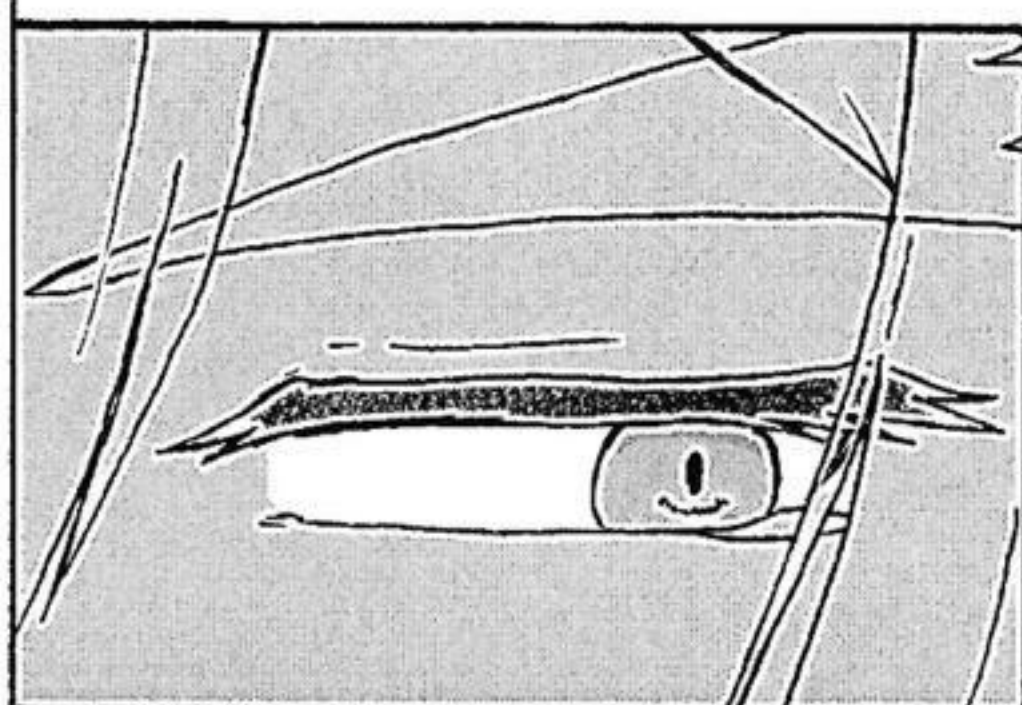
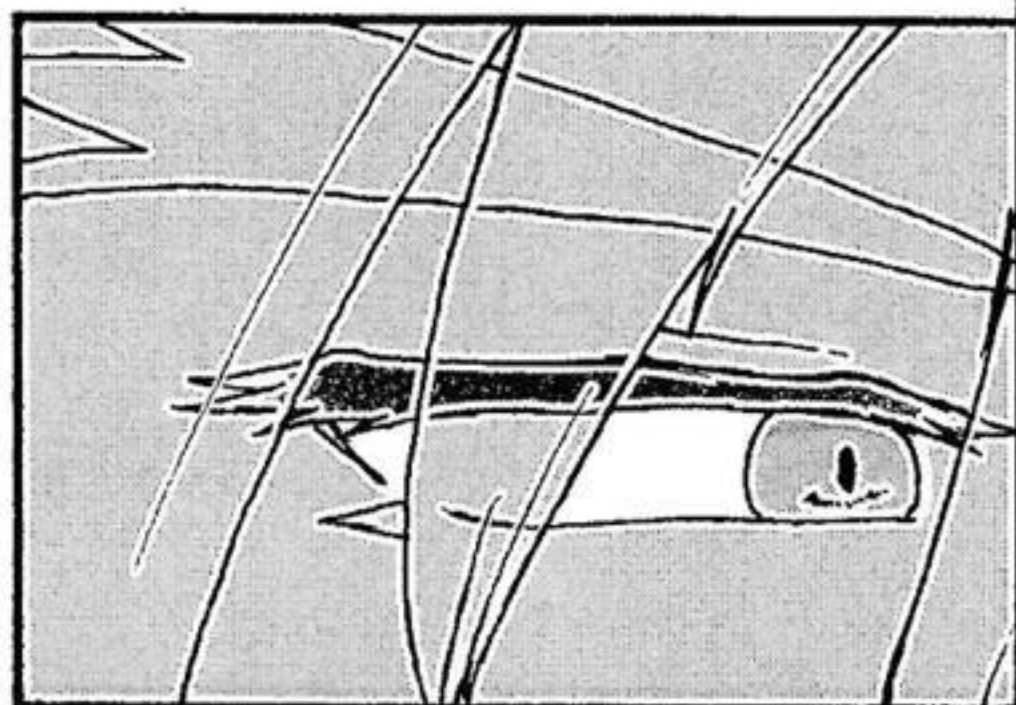
……いい子だ



今更正気に
戻ったところで



やすやすと
逃す筈がないだろう



何を
考えていた？

それは…



…大方、「これは
自分の欲していた罰では
ない」と思って
いたのだろう

お前は責任感が強い
罰されないうまま
苦しみを忘れることが
許せないのだな



だが我はお前に
罰を——痛みを
与えたくはない

さあ

痛みなくお前の
苦しみを癒して
やりたいのだ

だから我という時は
ただ身を任せ
我を求めることだけを
考えていれば良い

しかし…

十分に快楽は
与えてやっただろう

大丈夫だ

堕ちて来い——

それを他の誰が
許さなくとも
お前自身が
許さなくとも

我だけは
お前を赦そう
絶対だ



苦しくなったら
すぐ我の所に
来ればいい

少しでもお前が
苦しまずに済むのなら
我はいつでも応える

…貴方に迷惑を
かけてしまうのでは

ようやくこの手に
触れたのだ

迷惑などと
思うものか

だから我の
傍にいろ

もう他の誰にも
触れさせはしない



あ……



ユウディアスの中に
あった力強い光は
消え失せた

それが惜しくないと
言えば嘘になる



だが



……はい
ズウイージョウ

貴方が赦して
くれるのなら

それがしは
貴方の傍に……

光を失ったからこそ
我だけがお前に
触れられる

お前を赦し
癒せるのは我だけ

なんて心地が
良いのだろうか



ユウディアスを組み敷く
ことに全能感すらも
感じていたと言っても
いい

…だがいつからか

ズウィージョウ



ユウディアスに
求められることを

ズウィージョウ…!

我自身が求めている
ことに気がついた



真実を知ったあの日

心に開いた虚ろな
穴が満たされた気が
したのだ



ユウディアスに求められることで
このハリボテの命にただ一つ

確かな存在意義が
与えられた気がした

手放したくない

ユウディアスが
一人で立てるように
なってしまったら

求められなくなったら

我はまたこの命の
価値を見失う



だがそれは
ユウディアスが
壊れてしまっても
同じだ

壊したくもない



この行為は
ユウディアスの苦しみを
誤魔化しているだけ

きっと
そう遠くない内に
限界がくる

もう止める
べきだ

だが手放すには
あまりにも充足たる
時間なのだ





なんだ?
震えている...?



一体どうすれば



あ...



まだ苦しいのか?

どうしたら
苦しくなくなる?

...あ



言ってくれ
ユウディアス

頼む
答えてくれ



ユウディアス!?

突然何が...!?



…ズウィー
ジョウ

…酷くして
ほしい

何もわからなく
なるくらい



—なあ
知っているか
ユウディアス

ズウィージョウ

ズウィージョウ

いつもいつも
お前が必死に
求めている男が

どれほど
醜いのかを

あ



わかった



お前の心が
壊れ始めたことを
悟っても

己の欲に
抗えない醜い獣

はは

ずぽろ

んあ

ずぽろ

ずぽろ

あ

ずぽろ







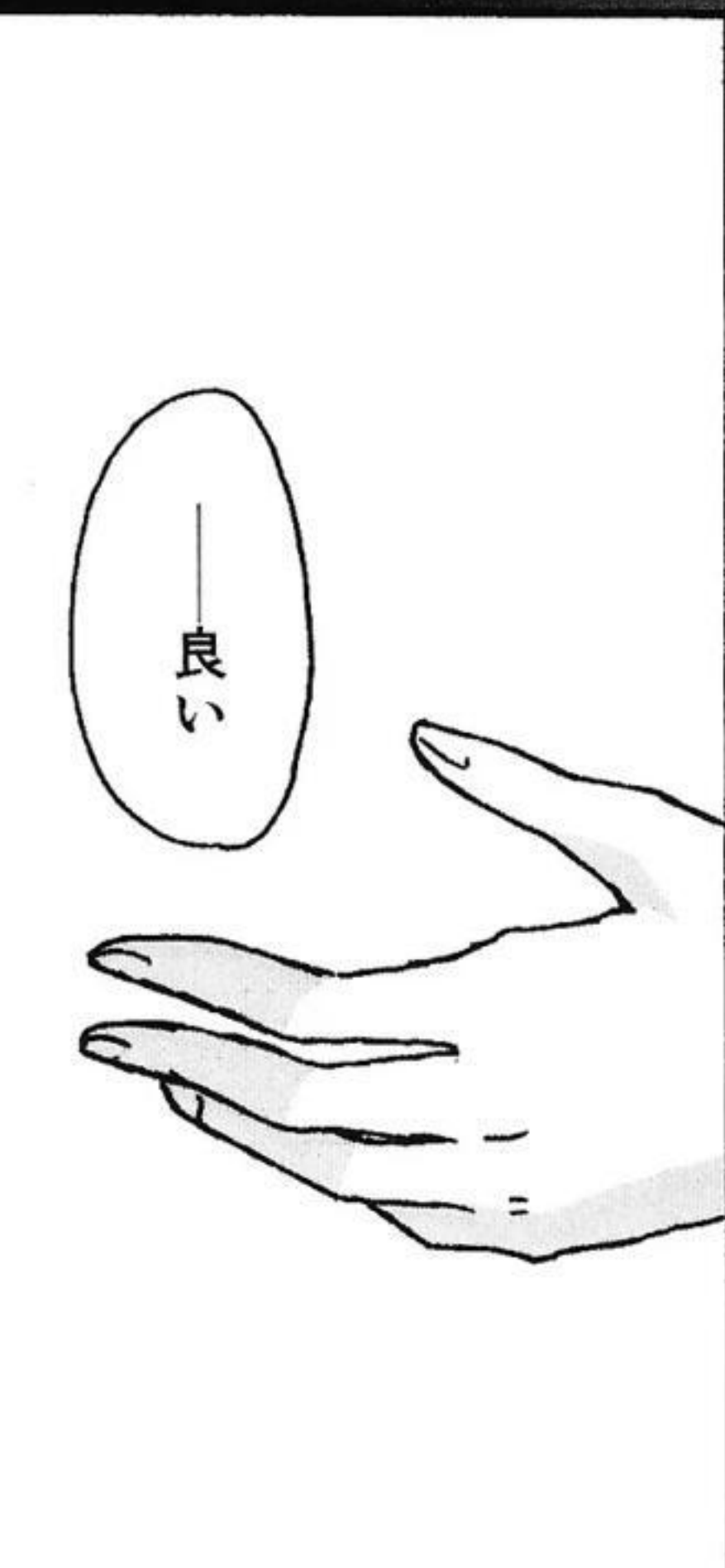
鮮烈な
敵意と共に



申し訳ありません
それがしは
何ということを...



ズッ
ズウィージョウ

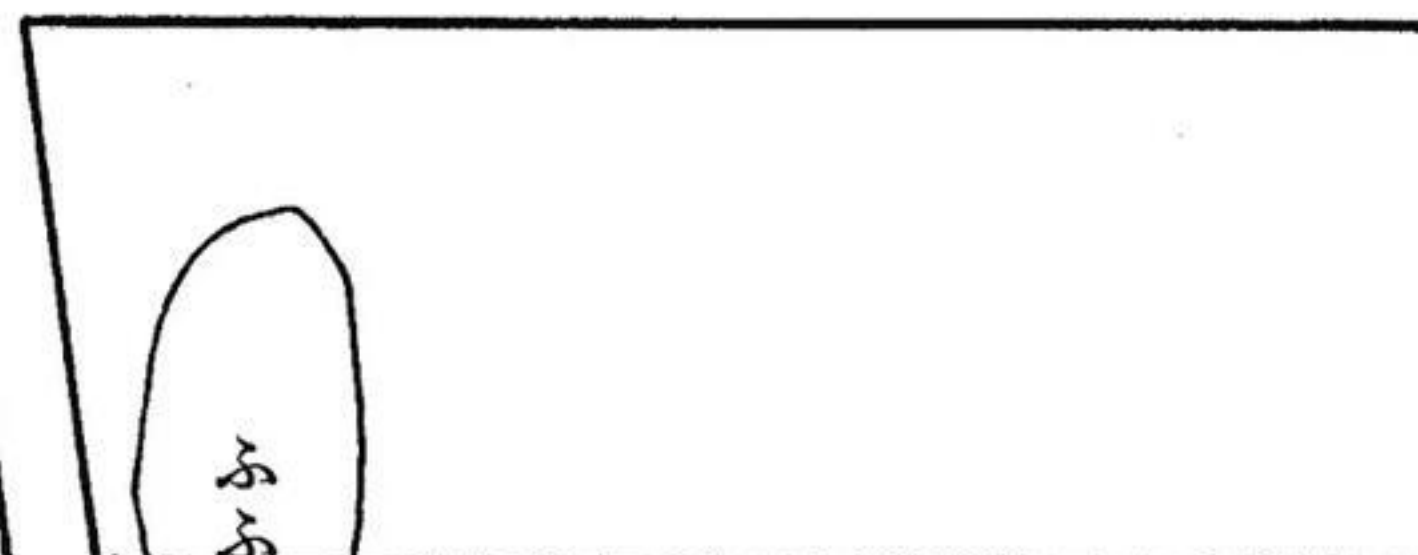


— 良い

心の奥底に
押し込めていた
本音^光



快樂に完全に
身を墮とした瞬間
現れた敵意





この先も我から
離れないと

お前の口から
確約が欲しい

それがしで
いいのですか

お前でなければ
だめなのだ

この心を満たして欲しい

ユウディアスに
求められることでしか

ユウディアスに心を
委ねられる瞬間でしか

この心の虚が
埋まることはない

再会したあの日に
本当の救いは
消えてしまったのだろう

—— 勿論
約束します

貴方が手を離さぬ限り
それがしも貴方の手を
離しません

ずっと
ずっと

それでもお前に
求められるためなら

お前を赦^{たす}ける
ためなら

この先に
救いが
なくてもいい

だから最期まで
どうか
この手を取り続けて
いて欲しい



あとがき

この本を手にとって頂きありがとうございます。

色々と初挑戦があり手探りで作った今回の本ですが楽しんで頂けたでしょうか。

1話の時点でユウディアスが双子と出会わず、ズウィージョウと再会していたら、という「もしも」を想定して描いた話でしたが、実際のところはどうなるのでしょうか。ユウディアスもズウィージョウもあまり自身の心情を語るタイプではないので「とりあえずお互いに向ける矢印はデカイ」ということだけを頼りに話を組み立ててしまいがち。

6話でユウディアスに誘いを断られた時に怒りを見せたズウィージョウですが、手を取られたら取られたで戸惑いを見せそうな気がします。仮に計画が成功して本当の命を得られたとしても、「カルトゥマータであった頃」のズウィージョウは救われないままなんですよね。無意味に戦地を駆けていた無意味な存在のまま。だからこそユウディアスの肯定の言葉がなによりもズウィージョウに必要なもので救いになるのではないかなと思っています。

色々と描きたいものを詰め込んでしまったのでちゃんと話としてまとまっているのか不安もありますが、このあとがきを読んで頂けているということは一応目を通せる内容にはなっているのだと思うことにします。

少し長くなってしまいましたが、ここまで読んで頂きありがとうございました。

また次の機会でも手に取って頂けたら幸栄です。

※ 以下ネーム作成当初のメモ書き

ユウディアスから肯定という名の救いを得られないことを本能的に悟るも、己の信念を曲げてまで自分と共にあることを選択したユウディアスの姿に高揚感を覚え、次第に救いの代替品としてユウディアスの心身を求めるようになる。

日に日に感情が薄くなっていくユウディアスを見て計画への加担を止めさせ手放すべきか考えたが、ある時ユウディアスが見せた鮮烈な敵意に魅せられ、彼を手放す選択肢を捨て去る。

ユウディアスの心を壊すことは本意ではない→ユウディアスの心が壊れても構わない
「救いをもたらしてくれないのなら、代わりに依存も執着も敵意も、お前の心の全てが欲しい」

はくひょう おど
「薄氷にて踊る」

発行日：2024/5/4

発行者：わっぱ飯

サークル名：ここめゆき

連絡先：wappameshi11@outlook.jp

X(Twitter)：@wappa_11

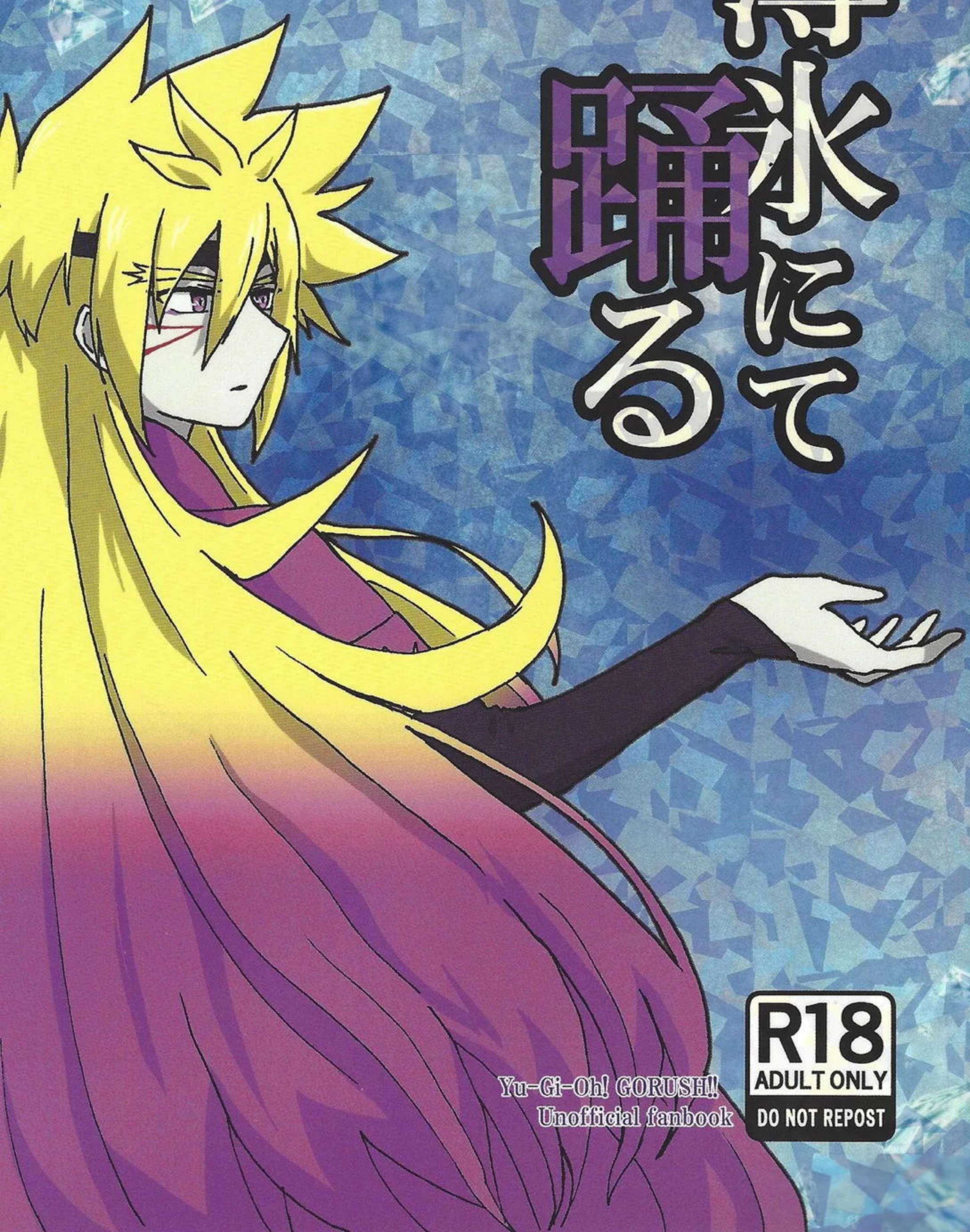
Bluesky：@wappa-11

印刷所：プリントオン様

※ この本は個人で作られた非公式のファンブックであり公式とは一切関係がありません。

無断転載、複製、複写、ネットオークションへの出品を禁じます

薄氷に 踊る



Yu-Gi-Oh! GORUSH!!
Unofficial fanbook

